



大樹

岩田小学校だより No. 5

令和元年 6月 7日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

会礼（6月4日）での校長の話

皆さんはどんな「努力」をしていますか。「努力」とは、「あきらめないでがんばり続ける」ことです。学校で頑張っていること、家で頑張っていること、習い事で頑張っていること…。みなさんは、続けて頑張っているどんなことが頭に思い浮かびましたか。

今日は「努力のつぼ」のお話をします。「つぼ」というのはコップや花瓶のような入れ物のことです。このようなものです。（つぼの実物を見せる）



人は「何かを始めよう」「今までできなかったことをやろう」と決めたとき、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそうです。全員必ずです。でも、「努力のつぼ」は目に見えないので、どのくらいの大きさか、深さか、そして今どこまで努力がたまっているかが全くわかりません。例えば、今、一輪車チャレンジに向かってあきらめないで続けて練習を頑張っていますね。同じ「アイドリグ」の「努力のつぼ」でも人によってもらうつぼの大きさが違うのです。あとどれだけ頑張ればあふれてできるようになるか中も見えないのです。



毎日、一生懸命、みんながつぼの中に努力を入れ続けていきます。すると、少しずつたまっていて、ある日突然努力があふれるときが来ます。努力があふれるとき、それはできなかったことができるようになるときです。そのとき初めてつぼの大きさがわかるのです。

「努力のつぼ」の難しいところは「大きさがわからずに、中が見えないこと」「大きさが人によって違うこと」です。漢字や計算、逆上がりや水泳、リコーダーや合唱、…。どんなことでもみんな同じだけ頑張ればできるのではないのです。みなさんは、いくら頑張っても、なかなかできるようにならないと思ったことはないですか。それはね、「努力のつぼ」の大きさがわからないので、努力をどれだけ続けていいかわからないからです。あと3日で、あと1日でいっぱいになるとわかればいいのだけれど、それはわかりません。だから大切なのはあきらめないことです。これまで頑張ってきた努力は間違いなく自分の中にたまっています。なかなかうまくできるようにならないなあと考えたときには、この「努力のつぼ」の話を思い出して、あきらめないで挑戦を続けていきましょう。



ここに「努力のつぼ」のことを書いた小学校一年生（岩田小学校ではありません）の作文があります。クラスの先生に渡しておきますね。今日は、「あきらめないで頑張れよう」「努力のつぼ」の話でした。

【子どもたちのスピーチ】



・ぼくの良いところは、友達がけがをしたときに助けることです。こども園のときからしていました。

これからも、けがをしている人がいたら、もっと助けたいです。

（1年 青島 圭汰さん）

- ・ぼくの良いところはたくさん発表することです。国語と算数で分かりやすく発表しています。これからも分かりやすく発表していきたいです。(2年 松浪 和希さん)
- ・ぼくの良いところは考えることです。一輪車のアイドリングがまだ2回しかできません。でも50回できるように一生懸命練習しています。これからも頑張りたいです。(2年 岡本 倅虎さん)
- ・ぼくの良いところは、できるようになるために毎日やり続けることです。一輪車はいろいろな技ができるように毎日練習したら、今ではメリーゴーランドが得意になりました。これからも続けたいです。(2年 星野 紬耶さん)
- ・私の良いところは二つあります。一つは毎日家で手伝いをすることです。だいたいご飯の支度の手伝いをします。時々、せんたく物をたたむこともあります。もう一つはできないことでも、あきらめずにすることです。1年生のとき、一輪車ができませんでした。でも休みの日にも練習して、できるようになりました。これからもこの二つのことを続けていきます。(2年 小林 由乃さん)
- ・ぼくの良いところは二つあります。一つは横断歩道で止まってくれた車の運転手さんに、必ずおじぎをすることです。そうすると相手の人がいい気持ちになるので、進んでおじぎをしていきたいです。もう一つは、生き物にやさしくできるところです。虫や植物にも人間と同じ、たった一つの命をもっているのです。これからもやさしくしていきたいと思います。(3年 鈴木 聖直さん)
- ・私の良いところは二つあります。一つは何でも努力することです。2年生のころは、算数の問題が苦手です。すぐにあきらめてしまいました。でも3年生になってやってみたら、楽しくなったのでよかったです。もう一つは誰とでも仲良くいられることです。3年生になったら仲良くなった友達がさらに増えたのでよかったです。この二つのことを大切にしていきたいです。(3年 永島 輝優さん)
- ・私の良いところは二つあります。一つは何事にもあきらめずに続けられることです。私は負けず嫌いなので、自分が納得するまで続けることができます。もう一つは誰にでも挨拶ができることです。私は毎日欠かさず朝、地域の人や先生、友達に元気に挨拶をしています。この二つの良いことをこれからも続けていきたいです。(4年 小林 叶乃さん)
- ・私の良いところは、誰に対しても優しく接することができることです。でも、いざ違う地域の小学校との交流の場になると、緊張して話せません。だから、そういう場でも少しでも声を掛けられるようにがんばります。(4年 青島 みゆさん)
- ・ぼくの良いところは二つあります。一つは、授業のときに必ず1回は発表することです。以前は自分の意見を言うことが恥ずかしくてできませんでした。今は上級生になり、自分の意見を言うことが楽しくなりました。これからも続けていきたいです。もう一つは、年上の人に対して敬語を使って話すことを心掛けていることです。ぼくは、敬語を使わず話してしまうことがたまにあります。そうすると相手に失礼になってしまうので気を付けていきたいです。これからもずっと努力して、自分の良いところをたくさん見つけたいです。(5年 伊藤 隼人さん)
- ・ぼくの良いところは二つあります。一つはたくさん発表できることです。算数ではたくさん発表できませんが、国語は少し苦手なのであまり発表できていません。だから、国語でももっと発表できるように頑張ります。もう一つは友達に優しくできることです。困っている人やけがをしている人に「だいじょうぶ？」と優しく声を掛けてみんなを助けています。これからもこの二つを続けていきたいです。(5年 太田 海斗さん)
- ・私の良いところは、目標をもって何事にも取り組むことです。特に今頑張っているのは、ピアノ演奏です。楽譜を見てすぐに演奏できるようにすることを目標にしています。ピアノの先生が、楽譜を見てさっと弾いているのを見て、かっこいいと思ったのがきっかけです。そのためには、演奏することだけではなく、音符の音をすぐに読み取って、メロディーやリズムを想像することが大切です。今はまだ、一曲弾けるのに3週間ぐらいかかりますが、もっと練習を積み重ねて、いつかピアノの先生のようにできるようになりたいと思います。(6年 青島 叶夏さん)
- ・私の良いところは、任された仕事をしっかりと行うことです。私は、運動会の一輪車演技の練習計画を立てて、指示をするという役割を任せられました。みんなが「ぜったい成功してやる」という気持ちになるように、いろいろと工夫しました。本番は休んでしまったけれど、みんなが成功したので、頑張った仕事をしたかひがありました。これからも任された仕事をしっかりとやって、やりがいを感じたいと思います。(6年 青島くるみさん)